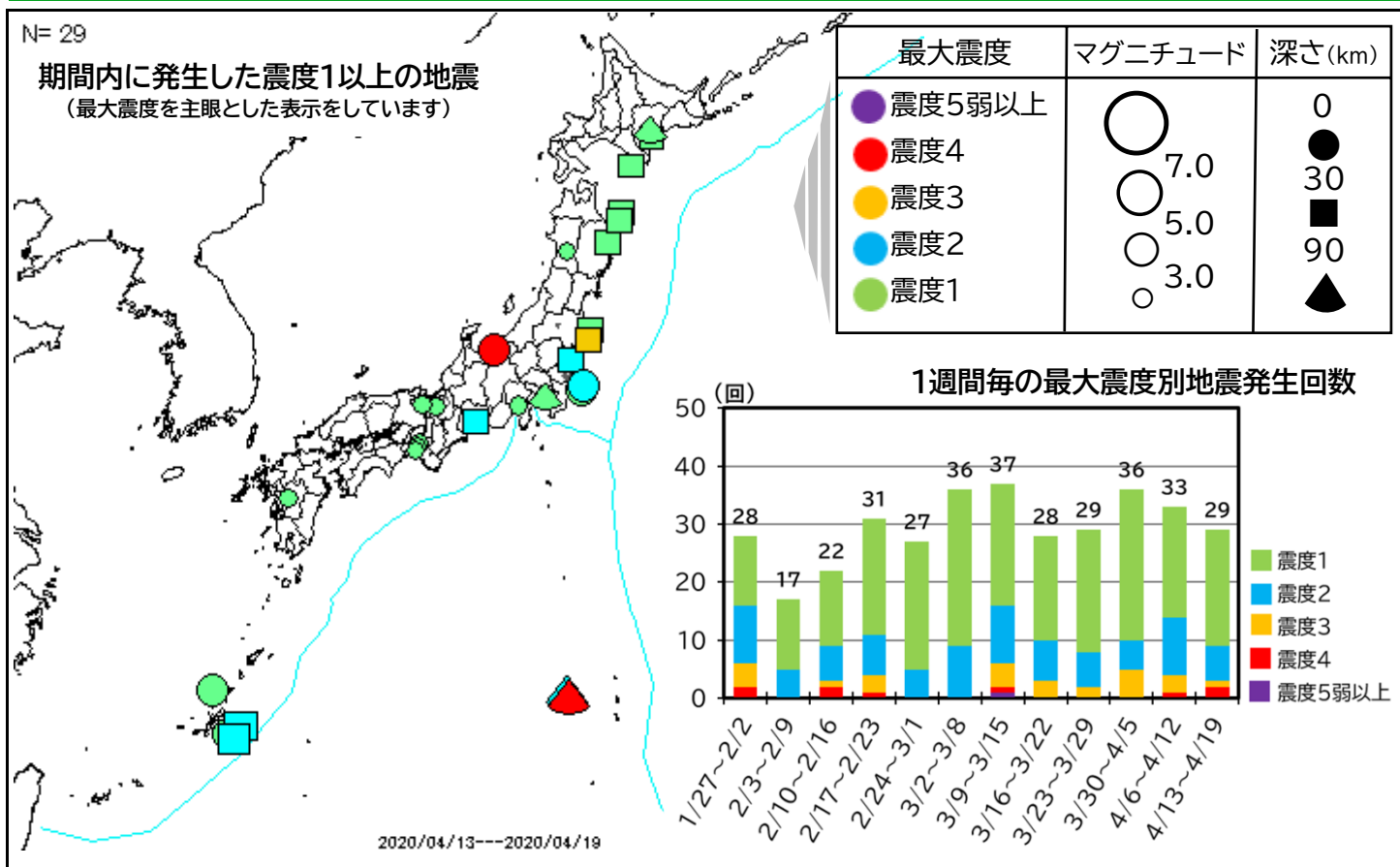


この期間の最大震度は4

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況

- この期間、震度1以上の地震が29回発生。最大震度は4 ■
- ・13日19時16分に長野県北部で発生した地震(M4.2、深さ5km)により、長野県小谷村で震度4を観測。この地震は地殻内で発生した逆断層型の地震。下記トピックス参照。
- ・18日17時25分に小笠原諸島西方沖で発生した地震(M6.8、深さ477km)により、小笠原村で震度4、東北地方から九州地方の広い範囲で震度2~震度1を観測。この地震は伊豆・小笠原海溝から沈み込んでいる太平洋プレートの深い所で発生した地震でありプレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型。このように深い地震などによって偏った広い範囲で震度1以上となるような現象は「異常震域」と言われています。(異常震域:週刊地震ニュース16号のトピックス参照)。

トピックス

■ 長野県北部の地震 ■

13日に長野県北部で発生した地震周辺で1998年以降の地震発生状況は以下のとおり。この付近での最大の地震は2014年(H26)11月22日に長野県北部で発生した地震(M6.7、深さ5km、図1)であり、長野県長野市、小谷村、小川村で震度6弱、長野県白馬村、信濃町で震度5強を観測。負傷者46人、住家全壊77棟などの被害が生じた(総務省消防庁)。余震は、小谷村から白馬村にかけての南北約20kmの領域で発生(図2)。

この付近には、糸魚川-静岡構造線活断層系の一部である神城(かみしろ)断層が存在しており、2014年の地震について地震調査研究推進本部地震調査委員会は、神城断層の一部とその北方延長が活動したと考えられると評価した。今回の地震は2014年の地震の北部に位置している(図1)。

